⑨株式会社フミン〈福島県福島市〉

スプレーコーティングで高い省エネ効果を実現 海外で圧倒的な注目を浴びるフミンコーティング

海外からも評価の高いスプレー式ガラスコーティング

スプレーで省エネが出来るフミンコーティング

福島県福島市に事務所を構える㈱フミンの持つ「フミンコーティング」が海外で注目されている。「フミンコーティング」とは、半導体関係に使われている塗料によるスプレー式のガラスコーティング技術であり、これにより紫外線を約90%、赤外線を約50%吸収・カットすることが出来る。その結果、直射日光による室温の上昇の抑制や、冬場の室温放射の防止・結露の防止が可能となる。

一般に同社製品と同じような効果の機能をガラスにもたらすには、真空装置で製造した二重ガラスが用いられるため高額となる。ところが、同社製品は既存のガラスにスプレーガンで塗料を塗布するだけで同様の効果が得られ、コスト面や利便性の面から注目を集めている。

既に国内に110社を超える販売代理店・施工会社と代理店契約を結んでいる他、マレーシアをはじめとするアジア各国や中東諸国からも高い関心と評価を得ている。

専門家との連携で急拡大

もともと八木澤社長はドイツ系の医薬品会社で働いていた。その後独立し、医薬品の卸売業、農業用資材の販売などを経て、現在は農業用資材が売上の1割、フミンコーティング関連事業が9割となっている。

フミン物質は、医薬品卸売業の際に悪臭分解物質として出会ったものだ。このフミン物質を環境に優しい農業資材として活用することを思い立ち、自ら開発を進めていく中で、現在のような紫外線・赤外線の吸収・カット効果がある伝導性金属酸化物にたどり着いた。

「紫外線・赤外線を吸収・カットできるのなら、窓ガラスの塗膜に使えないか。それもスプレーガンで簡単に塗装できれば、使い易いはず。」そう考えた八木澤社長は周囲の「そんなことは不可能だ」という声を他所(よそ)に2007年1月には、ガラスに常温で、斑やゆがみのない、紫外線や赤外線の遮断剤を含有した塗膜を形成する塗装法を開発し、特許を取得した。

今や世界に展開を進める同社だが、意外なことに社員は現在4名である。八木澤社長によると、自分たちで全てやるよりも、専門家にお願いした方がスピード・コスト共に都合がいいと言う。まず、同社は製造工場を持たない。フミンコーティングの塗料は全て化学メー

カーに委託しており、塗料の他にもコーティング前に使う洗浄液などは共同開発をしている。塗料の製造に関する部分は、全て国内外で特許を取得しているため、同社の知財は確保される。この知財確保の戦略立てや取得の部分には、専門の弁理士数名に依頼した。

さらに、フミンコーティングの営業・施工は全国にある会員制の施工会社が担当しており、同社の研修を受けてもらうことで一定の品質を確保している。同社のような建材に絡む商材は、建築家とのコネクションも欠かせない。有名建築で使ってもらうことで、実績として評価されるだけでなく、知名度が大きく上がるからだ。八木澤社長は、このような大物建築家との交流の場も外部に協力いただいて紹介してもらっている。

八木澤社長のモットーに「失敗を楽しむ」というのがある。「新しいことをやっているのだから失敗して当たり前、1000 回やって 1 回成功すればいいほう。」だという。

そうした姿勢がまた一つ実った。JETRO の紹介で出展したマレーシアの展示会で、フミンコーティングがマレーシアの重役の目に留まったのだ。経済発展の激しい同国では今後もガラス張りの高層ビルが急増する。赤道付近の同国にとって、直射日光による室内温度の上昇は深刻な問題だ。こうした日本とは違う特殊な事情から、同社の技術に対するマレーシア政府の関心は高く、大臣や首相、国王までが直接ブースに見学に訪れ、マレーシアでの販売支援を約束した。

フミンコーティングの効果

成功のポイントとこれから

同社の成功のポイントとしてまず考えられるのは、圧倒的な商品力である。八木澤社長の「人の役に立つものを提供したい」という情熱と執念から生まれたフミンコーティングは、まさに利用者の利便性と新たな雇用を生み出す点で、社会に役立つ商品となっている。

そしてその商品展開のビジネスモデルもまた徹底している。製造・特許取得・営業・施工など各方面の社外専門家と連携することで、スピーディ且つ効率的な事業展開をしている。「手の内を見せることで手を組もうという人が出てくる。そうした人と一緒に儲けられればいい。」と八木澤社長は言う。

現在、マレーシアの他にもシンガポールやインドネシア、中国、台湾、韓国、フランス、ドイツ、イギリス、中東諸国などからも関心が寄せられている同社のマーケットはまさに世界中に広がっている。

＜環境ビジネスのすすめ　～八木澤勝夫代表取締役からの一言～＞

失敗は誰でも恐ろしいことです。しかし、失敗から学ぶことは財産です。完成したら単純な金儲けでなく「大義名分のある事業」に育てるのが夢です。

＜企業データ＞
株式会社フミン
所 在 地：福島県福島市郷野目字上 21
設　　立：1978 年、資 本 金：1,000 万円
電話番号：024-544-0223
http://www.fumin.jp/